

様式 1 技術提案提出要請者選定理由書（第 7 条関係）

技術提案提出要請者選定理由書

1. 業務名称：〇〇
2. 担当事務所：
3. 方式：〇〇プロポーザル方式
4. 公示日：
5. 選定通知日

評価項目	評価内容	A社	B社	C社	...	
	【選定に用いた項目を記載】					
企業の経験及び業務実施能力	当該部門の建設コンサルタント登録					
	平成〇年度以降の同種又は類似業務の実績の内容					
	【追加項目を設定する場合】例（平成〇年度以降の技術者表彰、業務表彰経験の有無）					
業務実施体制	業務実施体制において、下請負若しくは委任の内容					
配置予定技術者の経験及び業務実施能力	管理技術者	技術者資格、その専門分野の内容				
		平成〇年度以降の同種又は類似業務の実績の内容				
		手持ち業務金額及び件数（特定後未契約のものを含む）				
		【追加項目を設定する場合】例（管理技術者の当該分野従事期間）				
		【追加項目を設定する場合】例（平成〇年度以降の技術者表彰、業務表彰経験の有無）				
		提出された同種又は類似業務の業務成績				
	担当技術者	技術者資格、その専門分野の内容				
		平成〇年度以降の同種又は類似業務の実績の内容				
		提出された同種又は類似業務の業務成績				
	照査技術者	技術者資格、その専門分野の内容				
		平成〇年度以降の同種又は類似業務の実績の内容				
		提出された同種又は類似業務の業務成績				
		【現場作業責任者を評価する場合に記載する】				
	現場作業責任者	(技術者資格及びその専門分野の内容)				
		(平成〇年度以降の業務の実績の内容)				
企業の社会	ISO 14000の資格の有無					

性 ※3項目の うちいずれ かを評価	暴力団員による不当な行為の防止 等に関する法律に従って選任され た責任者の平成〇年度以降におけ る同法第14条に規定される「講 習」受講経験の有無				
	障がい者の法定雇用率確保の有無				
点数					

上記の表における業者名は全て匿名。

参加表明書の提出者に順位をつける必要がない場合は、点数の代わりに「適」又は「不適」を記載。

様式 2-1 (標準選定通知書及び提出要請書) (公募型) (第7条関係)

番 号
平成 年 月 日

住所

商号又は名称

代表者氏名 様

西日本高速道路株式会社
〇〇支社長 〇〇 〇〇 印

技術提案書の提出者の選定通知書及び技術提案書の提出要請書
(業務名 〇〇自動車道〇〇橋計画設計業務)

平成〇年〇月〇日に公告を行い、平成〇年〇月〇日を期限として受領した標記業務の参加表明書を審査した結果、貴社を技術提案書の提出者として選定したので、下記のとおり提出を要請します。

記

1. 技術提案書の提出辞退は自由であり、辞退しても、それにより不利益な取扱いはいりません。

2. 技術提案書の作成に関する説明会
実施しない。

【説明会を行う場合は以下のとおり記載する】

- ①実施場所：〇〇支社〇階〇〇会議室
- ②実施日時：平成〇年〇月〇日 (〇) 〇〇時～〇〇時
- ③出席者：管理技術者又は担当技術者

3. 提出された技術提案書に関するヒアリング

- ① 実施場所：〇〇支社〇階〇〇会議室
- ② ヒアリングの日時は協議の上、決定する。
- ③ 出席者：出席者は管理技術者 (又は担当技術者)

【ヒアリングを行わない場合は以下のとおり記載する】

実施しない。

4. 技術提案書に関する質問の受付及び回答は、次のとおりです。

(1) 質問は、文書 (様式自由、但し規格はA4判) により行うものとし、持参、郵便 (書留郵便に限る) 又は託送 (※1) のいずれの方法でも可能とする。

- ① 質問の受け付け担当部署：説明書11の提出先と同じ
- ② 質問の受け付け期間：平成〇年〇月〇日 (〇) 〇〇時より
平成〇年〇月〇日 (〇) 〇〇時まで

※1 託送とは、民間事業者による信書の送達に関する法律 (平成14年法律第99号) 第2条第6項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第9項に規定する特定信書便事業者による同条第2項に規定する信書便で書留郵便と同等のものをいう。以下同じ。

- (2) 質問に対する回答は、質問を受け付けした日から7日間（休日は含まない。）以内に電送又は電子メールにより行う。
5. 技術提案書の提出方法は、下記のとおりとする。
- ① 提出方法：○部を持参、郵送（書留郵便に限る）又は託送するものとする。
 - ② 提出先：西日本高速道路株式会社○○支社総務企画部経理課
(住所) 〒○○○-○○○ ○○県○○市○○町○-○-○
(電話) ○○○○-○○-○○○○
(FAX) ○○○○-○○-○○○○
 - ③ 受領期限：平成○年○月○日 (○) ○○時
6. 技術提案書の特定及び非特定の通知は、平成○年○月○日までに行います。
7. 技術提案書を提出した者のうち、特定しなかった者に対しては、特定されなかった旨及びその理由を書面により通知します。
8. 特定されなかった者は、平成○年○月○日までに書面により契約責任者に対して、非特定理由について説明を求めることができます。
9. 非特定理由についての説明を求められたときの回答は、平成○年○月○日までに書面により行います。
10. 照会窓口の連絡先：5. ②に同じ。
11. 詳細については、別添の説明書を参照して下さい。

以 上

様式 2-2 (標準選定通知書及び提出要請書) (標準型) (第7条関係)

番 号
平成 年 月 日

住所

商号又は名称

代表者氏名 様

西日本高速道路株式会社
〇〇支社長 〇〇 〇〇 印

技術提案書の提出要請書
(業務名 〇〇自動車道〇〇橋計画設計業務)

〇〇自動車道〇〇橋計画設計業務において、貴社を競争参加者として選定しましたので、技術提案書の提出を要請します。なお、技術提案書の提出については下記のとおり取り扱いますので了解願います。

記

1. 技術提案書の提出辞退は自由であり、辞退しても、それにより不利益な取扱いはいりません。
なお、提出を辞退する場合は別紙の提出辞退届を下記のとおり提出してください。

①提出先：西日本高速道路株式会社〇〇支社総務企画部経理課

(住所) 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

(電話) 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

(FAX) 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

②提出期限：平成〇年〇月〇日 (〇) 〇〇時

2. 技術提案書の作成に関する説明会

実施しない。

【説明会を行う場合は以下のとおり記載する】

①実施場所：〇〇支社〇階〇〇会議室

②実施日時：平成〇年〇月〇日 (〇) 〇〇時～〇〇時

③出席者：管理技術者又は担当技術者

3. 提出された技術提案書に関するヒアリング

①実施場所：〇〇支社〇階〇〇会議室

②ヒアリングの日は協議の上、決定する。

③出席者：出席者は管理技術者 (又は担当技術者)

【ヒアリングを行わない場合は以下のとおり記載する】

実施しない。

4. 技術提案書に関する質問の受付及び回答は、次のとおりです。

(1) 質問は、書面 (規格はA4判) により行うものとし、持参、郵便 (書留郵便) 又は託送 (※1) のいずれかの方法とする。

- ① 質問の受け付け担当部署：説明書9の提出先に同じ
- ② 質問の受け付け期間：平成〇年〇月〇日（〇）〇〇時より
平成〇年〇月〇日（〇）〇〇時まで

※1 託送とは、民間事業者による信書の送達に関する法律（平成14年法律第99号）第2条第6項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第9項に規定する特定信書便事業者による同条第2項に規定する信書便で書留郵便と同等のものをいう。以下同じ。

(2) 質問に対する回答は、質問を受け付けした日から7日間（休日は含まない。）以内に書面により行う。

5. 技術提案書の提出方法は、下記のとおりとする。

- ①提出方法：〇部を持参、郵便（書留郵便）又は託送するものとする。
- ②提出先：1. ①に同じ
- ③受領期限：平成〇年〇月〇日（〇）〇〇時

6. 照会窓口の連絡先：1. ①に同じ。

7. 詳細については、別添の説明書を参照して下さい。

以 上

(別紙)

平成〇年〇月〇日

西日本高速道路株式会社
〇〇支社長 〇〇 〇〇 様

住 所
商号 又は 名称
代表者氏名 〇〇 〇〇 印

提出辞退届

〇〇自動車道〇〇橋計画設計業務における技術提案書の提出要請書を受け取りましたが、本競争参加を辞退します。

以 上

様式3 (非選定理由通知書) (第8条関係)

非 選 定 理 由 通 知 書

番 号

平成 年 月 日

住所

商号又は名称

代表者氏名 様

西日本高速道路株式会社

〇〇支社長 〇〇 〇〇 印

先に申請のあった〇〇自動車道〇〇〇〇設計業務に係る参加表明書について、審査を行った結果、技術提案書の提出者として選定されませんでしたので通知します。

記

業務名	〇〇自動車道 〇〇〇〇設計業務
非選定理由	

非選定の通知を受けた者は、書面により当職に対して非選定理由の説明を求めることができます。

非選定理由の説明要求の受付窓口について

・受付窓口 西日本高速道路株式会社 〇〇支社 総務企画部 経理課

〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

・受付期間 平成〇年〇月〇日から平成〇年〇月〇日（土曜日、日曜日及び祝日を除く）の午前10時から午後4時まで

様式4 (回答書(非選定))(第8条関係)

回 答 書

番 号

平成 年 月 日

住所

商号又は名称

代表者氏名 様

西日本高速道路株式会社

〇〇支社長 〇〇 〇〇 印

平成〇年〇月〇日付で、提出された非選定理由に係る説明要求に対して、次のとおり回答します。

1 業務名

〇〇自動車道 〇〇〇〇設計

2 非選定理由に係る説明要求内容

「非選定理由通知書」(平成〇年〇月〇日付け〇〇第〇〇号)の説明

3 回答

〇〇〇〇

様式5 特定理由書（第15条関係）

特 定 理 由 書

- ① 対象業務 : ○○設計
 ② 方式 : ○○プロポーザル（総合評価）
 ③ 特定年月日 : 平成○○年○○月○○日

評価項目	評価内容		評価点	1		2		3		備 考	
				(特定業者)		A者		B者			
				評 価	点 数	評 価	点 数	評 価	点 数		
配置予定技術者の経験及び業務実施能力	管理技術者	技術者資格、その専門分野の内容									
		平成○年度以降の同種又は類似業務の実績の内容									
		提出された同種又は類似業務の業務成績									
	担当技術者	技術者資格、その専門分野の内容									
		平成○年度以降の同種又は類似業務の実績の内容									
		提出された同種又は類似業務の業務成績									
	照査技術者	技術者資格、その専門分野の内容									
		平成○年度以降の同種又は類似業務の実績の内容									
		提出された同種又は類似業務の業務成績									
	【現場作業責任者を評価する場合に記載する】										
		現場作業責任者	技術者資格及びその専門分野の内容								
			平成○年度以降の業務の実績の内容								
業務実施方針及び手順	業務理解度	目的、条件、内容の理解									
	実施手順	実施手順の妥当性									
		業務量把握の妥当性									
その他	重要事項の指摘										
特定テーマに対する技術提案	的確性	与条件との整合									
		キーワードの網羅									
		事業重要度の考慮									
		事業難易度の考慮									
	実現性	説得力									
		提案内容の裏付け									
		利用予定資料の適切性									
		事業費の妥当性									
	独創性	前例のない提案									
		高度の検討・解析手法									
既存分野の統合化提案											
新工法採用の提案											
合計											
参考見積	提案内容と見積内容の整合性										

上記の評価表における業者名は、特定業者以外は匿名

様式6（見積方通知）（第15条関係）

番 号
平成 年 月 日

住所

商号又は名称

代表者氏名 様

西日本高速道路株式会社
〇〇支社長 〇〇 〇〇 印

見積方通知書

（調査等名） 〇〇自動車道 〇〇〇〇設計

平成〇年〇月〇日に提出要請を行い、平成〇年〇月〇日を期限として受領した標記業務の技術提案書を評価した結果、貴社から提案のあった技術提案書を最も優れたものとして特定したので、見積方依頼します。

記

1 契約条項を示す場所

2 現場説明の日時及び場所

イ 日 時 平成 年 月 日 午^前後 時 分
ロ 場 所

3 見積書提出の期限、場所及び方法

イ 期 限 平成 年 月 日 午（前・後） 時 分まで
ロ 場 所

ハ 方 法 持参、郵便（書留郵便に限る）又は託送（※1）

※1 託送とは、民間事業者による信書の送達に関する法律（平成14年法律第99号）第2条第6項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第9項に規定する特定信書便事業者による同条第2項に規定する信書便で書留郵便と同等のものをいう。

4 見積り合せの日時及び場所

イ 日 時 平成 年 月 日 午（前・後） 時 分
ロ 場 所

5 その他 見積決定に当たっては、見積書に記載された金額に当該金額の100分の8に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を四捨五入した金額）をもって決定価格とするので、見積者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額を見積書に記載すること。

以 上

様式7 (非特定理由通知書) (第16条関係)

非 特 定 理 由 通 知 書

番 号

平成 年 月 日

住所

商号又は名称

代表者氏名 様

西日本高速道路株式会社

〇〇支社長 〇〇 〇〇 印

先に申請のあった 〇〇自動車道 〇〇〇〇設計 業務に係る技術提案書について、審査を行った結果、見積者として特定されませんでしたので通知します。

記

業務名	〇〇自動車道 〇〇〇〇設計
非特定理由	

非特定の通知を受けた者は、書面により当職に対して非特定理由の説明を求めることができます。

非特定理由の説明要求の受付窓口について

・受付窓口 西日本高速道路株式会社 〇〇支社 総務企画部 経理課

〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

TEL 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

・受付期間 平成〇年〇月〇日から平成〇年〇月〇日（土曜日、日曜日及び祝日を除く）の午前10時から午後4時まで

様式8 (回答書 (非特定)) (第16条関係)

回 答 書

番 号

平成 年 月 日

住所

商号又は名称

代表者氏名 様

西日本高速道路株式会社

〇〇支社長 〇〇 〇〇 印

平成〇年〇月〇日付で、提出された非特定理由に係る説明要求に対して、次のとおり回答します。

1 業務名

〇〇自動車道 〇〇〇〇設計

2 非特定理由に係る説明要求内容

「非特定理由通知書」(平成〇年〇月〇日付け〇〇第〇〇号)の説明

3 回答

〇〇〇〇